

○●○○● 福祉実践教室 ○●○○●

10月13日（金）、今年も4・5・6年生を対象に福祉実践教室を実施しました。

最初に、体育館で車椅子に乗って生活している吉田さんのお話を聞きました。吉田さんは競輪の選手でしたが、事故に遭い、背骨を痛め、歩けなくなりました。その吉田さんの心を救ったのは、仲間や家族の支えでした。今では、特別な車を運転して自分が行きたい場所へも行けるようになりました。「福祉とは、ふだんのくらしをしあわせにすること。いろいろな人の違いをお互いに認め合い、みんなが幸せな世の中、社会をつくるということ」「心のバリアフリー。目に見えるバリアだけではなく、心のバリアをとること。相手の気持ちを考えて、思いやりの心をもって接することが大事だということ」「子どもたちにはたくさんの可能性がある。あきらめず、何事にもチャレンジしてほしいということ」などを、吉田さんからたくさん学びました。

その後は、点字・手話・車椅子体験・認知症サポーター講座の4つに分かれて、それぞれ講師の方と一緒に学びました。手話の教室では、日頃苦勞されていることや、指文字や手話、ジェスチャーといった、耳が聞こえない人とのコミュニケーションの方法を教えてくださいました。耳の聞こえない方にとって一番困ることは、電車の運休や遅延の放送、Jアラートや緊急地震速報などの緊急の情報がわからないことだそうです。自分たちは、そういった方々に何ができるのかを考えさせられた1時間でした。

福祉実践教室で学んだこと、それは「誰に対しても優しく、思いやりの気持ちをもって接することが大切」だということだと思います。子どもたちには、その優しさをずっともち続けてほしいと思います。

【福祉実践教室担当 八代 一輝】



サッカー・バスケット競技会



10月26日（木）にサッカー・バスケット競技会が開かれました。1ヶ月という短い練習期間でしたが、参加した児童は毎日一生懸命練習に励むことができました。競技会当日は練習の成果を十分に発揮し、

女子バスケ部、サッカー部は準優勝、男子バスケ部は3位という成績でした。来年度、6年生は中学校で、4・5年生は美和小学校の主力として活躍してくれることを願っています。

【サッカー・バスケット部 顧問一同】

